学校番号	1006

令和二年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　標準 現代文Ｂ」　（第一学習社）						
副教材等	・三訂版 漢字検定５～２級対応 常用漢字ダブルクリア（尚文出版） ・意味から学ぶ常用漢字（第一学習社） ・国語常識のトレーニングノート 国語必携　ライトパーフェクト演習〈三訂版〉（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代文Ｂでは、これまでの国語総合での学習を踏まえ、
　読むことを中心に総合的な言語能力を育成します。
・具体的には、「読むこと」では、接続語や指示語などの読解の基礎を踏まえ、
　より応用的な読解を行い、「話すこと・聞くこと」では聞き手を意識した話し方と傾聴、
　「書くこと」では文章構成法やナンバリングなどの技術の習得をめざします。
・漢字をはじめとする語彙力は、国語力の基礎となるとても重要なものです。
　副教材を活用して、しっかりと習得しましょう。
　また、進学や就職の際に役に立つ「日本漢字能力検定」などの資格の取得もめざしましょう。
・定期考査は学習計画を立てて臨むようにしましょう。
　また、提出物の期限はしっかりと守るようにしましょう。

２　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。
・論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。
・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、
　自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、
　生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる態度を養う。
・我が国の言語文化に対する理解を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つ。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、その向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすることができる。	相手や目的、意図に応じて、適切な文章を構成することができる。	目的に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検(ノート・プリント等)	・行動の観察(発表などのパフォーマンス評価) ・定期考査	・記述の確認及び分析(プリントなど) ・定期考査	・定期考査 ・記述の確認及び分析(プリントなど)	・定期考査 ・記述の確認(ノート・プリント・小テストなど) ・行動の観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	人間と文化	・評論の基本的な読解方法を知る(指示語・接続語など)。 ・対比構造を理解する。 ※教材：平田オリザ『コミュニケーションの文化』	○			◎	○	a:評論の読解方法について、進んで習得しようとしている。 d:評論の基本的な読解方法・対比構造について理解し、それらを踏まえて読むことができる。 e:読解に必要な漢字・語句について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	小説を読む(一)	・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ※教材：江國香織『デューク』	○			◎	○	a:小説のおもしろさを味わおうとしている。 d:登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取ることができる。 e:読解に必要な漢字・語句について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	表現の実践	さまざまな文章構成について知り、それを使い分けて文章を書いてみる。	○		◎		○	a:さまざまな文章構成があることを踏まえ、文章を書こうとしている。 c:さまざまな文章構成を使い分けて文章を書くことができる。 e:さまざまな文章構成のあり方について知っている。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の確認及び分析・定期考査 e:定期考査・記述の確認・行動の観察

二学期	新しい発見	・評論の読解方法について深めていく(指示語、接続語、文章構成など)。 ※教材:毛利衛『新しい地球観』	○			◎	○	a:評論の読解方法について、進んで習得しようとしている。 d:評論の基本的な読解方法について理解を深め、評論を読むことができる。 e:読解に必要な漢字・語句について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	小説を読む(二)	・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ※教材:井上ひさし『ナイン』	○			◎	○	a:小説のおもしろさを味わおうとしている。 d:登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取ることができる。 e:読解に必要な漢字・語句について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	表現の実践	ナンバリングの方法について知り、それを用いて文章を書く。	○		◎		○	a:ナンバリングの方法を活用して文章を書こうとしている。 c:ナンバリングを使って文章を書くことができる。 e:ナンバリングの方法について知っている。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の確認及び分析・定期考査 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
三学期	言葉と生活	・評論の基本的な読解方法について理解を深め、言語技術として習得する(指示語・接続語・文章構成など)。 ※教材:俵万智『情けは人の…』	○			◎	○	a:評論の読解方法について、進んで習得しようとしている。 d:評論の基本的な読解方法についてさらなる理解を深め、評論を読むことができる。 e:読解に必要な漢字・語句について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察

	詩を味わう	・詩に込められたメッセージを読み取り、そこから想像を膨らませる。 ※教材：宮沢賢治『永訣の朝』	○			◎	○	a:詩の内容から、想像力を膨らまそうとしている。 d:詩に込められたメッセージを読み取り、そこから想像を膨らませることができる。 e:詩の読み取りに必要な語句を理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	表現の実践	プレゼンテーションの基礎(声量の大小、アイコンタクト、ツールなど)について知り、実践する。	○	◎			○	a:効果的に伝えるための技術を踏まえ、話そうとしている。 b:効果的に伝える技術を踏まえ、聞き手を意識して話すことができる。 e:効果的に伝えるための技術(声量の大小、アイコンタクト、ツールなど)を知っている。	a:行動の観察・記述の点検 b:行動の観察 e:定期考査・記述の確認・行動の観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話すこと・聞くこと　c:書くこと　d:読むこと　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、またその単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)にかかわる観点には◎印を付している。